

公益社団法人 私立大学情報教育協会
数学・物理学・化学・生物学・機械工学・経営工学 建築学・
電気通信工学・土木工学・被服学・美術デザイン学グループ
分野連携アクティブ・ラーニング対話集会 開催要項

オンライン開催

1. 開催趣旨

デジタル革命の真ただ中であって、持続可能な社会を創り出す担い手としての教育のあり方を探究する観点から、大学としてどのように向き合うことが期待されるのか議論が進められています。

それには、教育のDX化を後戻りさせない中で、学生一人ひとりの能力を伸長する個別最適な授業と、対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた問題発見・課題解決型教育(PBL)の推進普及が急がれます。

そこで本対話集会では、大学教員を中心とした分野連携によるアクティブ・ラーニングの対話集会を通じて、ICT(情報通信技術)や生成AIなどを活用した効果的な学びの可能性や課題などについて、参加教員によるグループ討議を通じて意見交流を行い、問題意識の定着と改善に向けた行動変容の促進を探究することにしております。

2. プログラム

(1) 開催趣旨の説明

(2) ICTを活用したアクティブ・ラーニングの話題提供

- ※ 建築学分野：ICTツールを用いて調布市と南部町における「空き家活用」の可能性を探る
共立女子大学建築・デザイン学部教授 高橋 大輔 氏
- ※ 機械工学分野：学習分析ツールを活用した機械系専門科目の反転授業～予習活動の可視化とその効果～
芝浦工業大学工学部教授 角田 和巳 氏
- ※ 物理学分野：LMSで行う確認テストと振り返りによる基礎知識の定着と自発的学修の継続
北海道情報大学経営情報学部教授 穴田 有一 氏
- ※ 電気通信工学分野：リアルタイムオンライン反転授業の効果と課題
山梨大学教育国際化推進機構大学教育センター副センター長 森澤 正之 氏
- ※ 情報学分野：大規模言語モデル・対話型AIによるプログラミング・データサイエンス演習の学修支援
日本女子大学理学部教授 倉光 君郎 氏

(3) 意見交流(参加者をグループ分けして行います)

- ① 学修者本位の授業実現
 - * LMS等で理解度・成長度の把握や個別に学修指導している状況、反転授業導入等の状況を確認した上で、個別最適化の実現に向けた課題を整理・共有し、対応について意見交流します。
- ② 問題発見・課題解決型(PBL)授業の理解促進と推進・普及
 - * 対面授業と遠隔授業を効果的に組み合わせた授業の実施状況、PBLの実施状況を確認した上で、PBLの効果と課題を整理・共有し、対応について意見交流します。
- ③ 教員の意識啓発の促進
 - * 上記①、②の授業改善を組織的に進める意識啓発の対策として、FD実施の状況を確認した上で、教員全員が参加する教学マネジメントの仕組みやFD活動の改善について意見交流します。
- ④ 生成AI(ChatGPTなど)の取扱い
 - * 授業の内外で生成AIを体験させている、又はこれから体験させることを考えている状況を確認した上で、学生が社会で使いこなすことができるよう、大学としての対応・課題について意見交流します。

(4) 総括

3. **参加対象者**：私立の大学・短期大学教員

4. **開催日時**：令和5年12月23日（土）PM1：30～5：00

5. **会場**：オンライン(Zoom 使用)による開催とします。なお、申込者には、対話集会視聴方法等について、申込書に記入いただいたアドレスに12月21日(木)にメールでお知らせします。

6. **定員**：50名（先着順で受け付けます）

7. **参加費**：無料

8. **資料の配信**

話題提供の「発表資料」は、12月23日の午後1時に以下のページに掲載します。

<https://www.juce.jp/senmon/active/>

申込者は、受付後お知らせする「参加ID とパスワード」を入力することでご覧になれます。

9. **参加申込**

別紙申込書に必要事項を記入の上、メール添付又はFAXにて**令和5年12月15日(金)まで**に申し込み下さい。なお、申込締め切り後でも受け付けることがありますので、事務局にお問い合わせ下さい。

メール送信先：info@juce.jp F A X送信先：03-3261-5473 TEL：03-3261-2798

10. **その他**

12月23日(土)終了後、参加者には12月26日(火)、27日(水)の2日間、対話集会の開始から終了までの録画を閲覧できるようにします。また、意見交流による課題等の整理は、後日改めて文章で本協会のWebサイトに掲載する予定にしています。